

2021年5月19日

公益財団法人日本バスケットボール協会  
2020年度 7-6月期 第11回理事会 報告

日時:2021年5月19日(水) 13:30～15:30

会場:－ (WEB会議)

**【報告内容】**

1. 裁定規程に基づく裁定委員会からの答申について
2. Bリーグ U18 カテゴリー大会要項について①
3. Bリーグ U18 カテゴリー大会要項について②
4. その他、報告事項

以上

## 1. 裁定規程に基づく裁定委員会からの答申について

都道府県協会役員兼 U12 カテゴリーの監督(男性)のハラスメント事例について、裁定委員会からの答申を受け、対象者の本協会の登録資格を2021年5月19日(懲罰決定の日)から9か月間停止することが承認された。

### <特記事項>

- ・これまで懲罰については対象者のプライバシー保護等を目的に非公表としてきたが、本件については、PBA 役員が処分対象者となる事案であり、特段の重大さ等を鑑み、処分内容を公表するものとする。
- ・今後の懲罰の公表については、今後も継続して検討していく。ただし、公表にあたっては、被処分者、被害者またはその他の関係者のプライバシー等の権利に配慮し、当該権利を侵害するおそれがある等、特段の事情がある場合においては公表を差し控えることができることを原則として検討する。

\*\*\*

### <公表内容>

- ①懲罰対象者の属性
- ②懲罰の内容、理由および起算日
- ③事案の概要

\*\*\*

JBA 公式サイト 懲罰公表ページはこちら >> <http://www.japanbasketball.jp/jba/sanction/>

## 2. Bリーグ U18 カテゴリー大会要項について①

JBA主催競技会として、「B. LEAGUE U18 REGIONAL 2021」大会要項が承認された。

ただし、対外公表はB.LEAGUEからの対外発表後とする。

■大会名:「B. LEAGUE U18 REGIONAL 2021」(2021年より開催)

○趣旨: B.LEAGUE U18 チームの文化の構築と醸成、ならびに世界に通用する選手の輩出に向けた育成強化の礎を形成するための機会を提供する

○主催: 公益財団法人日本バスケットボール協会

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ



- 主管:公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
- 日程:2021年6月~7月(※予定)
- 会場:各地区主管クラブの指定する会場
- 出場資格:Team JBAのU18カテゴリーのチーム区分U18Bクラブユースに登録している  
チーム並びに選手
- 大会形式:1回戦総当たりリーグ戦
- 競技規則:「2021~バスケットボール競技規則(Official Basketball Rules 2018)」
- ユニフォーム:B.LEAGUE規約のユニフォーム要項に準ずる

### 3. Bリーグ U18 カテゴリー大会要項について②

JBA主催競技会として、「B. LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2021」大会要項が承認された。  
ただし、対外公表はB.LEAGUEからの対外発表後とする。

■大会名:「B. LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2021」(2021年より開催)

- 趣旨:B. LEAGUE U18チームの文化の構築と醸成、ならびに世界に通用する選手の輩出に  
向けた育成強化の礎を形成するための機会を提供する
- 主催:公益財団法人日本バスケットボール協会  
公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
- 主管:公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
- 日程:2021年8月12日(火)~8月15日(日)(※予定)
- 会場:駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場
- 出場資格:Team JBAのU18カテゴリーのチーム区分U18Bクラブユースに登録している  
チーム並びに選手
- 大会形式:トーナメント方式
- 競技規則:「2021~バスケットボール競技規則(Official Basketball Rules 2018)」
- ユニフォーム:B.LEAGUE規約のユニフォーム要項に準ずる

## 4. その他、報告事項

### (1) ブロックユース育成コーチの任命について

ブロックのU12/U14ユース育成コーチ・U16-18強化育成コーチの任期・任命について明文化し、コロナ禍による特別対応を行うことが報告された。

#### <経緯>

U14およびU16-18のブロックのコーチは選手選考に関わる重要な役割を担っているが、コロナ禍において引き継ぎがうまくいかないため特別対応が求められたことによる。

#### <内容(抜粋)>

1. 任期:10月～翌9月のJBA任期に合わせる。(最大3期6年)  
→ 技術委員会認証であるため技術委員会が更新されるJBA任期に合わせた。また、多くの方が関わることで活性化を目指すため。
2. 再任:可能、但し2期以上行った場合は、1期2年を空けることとする(通算6期12年まで)。  
→ ブロックによっては適任者を見つけることが難しいとの意見に配慮。
3. 任命者:JBA技術委員会。(都道府県コーチマネージャーは都道府県協会)
4. 推薦手順:推薦者を各ブロックよりJBA育成担当に6月中までに提出、10月の新規技術委員会で認証。
5. 推薦の条件:ブロックコーチは都道府県のコーチであること。  
→ 推薦母体は都道府県であることを明確にした。
6. 推薦者選出方法:ブロック内で互選。ブロック内都道府県協会専務理事の了解を得ること。  
また透明性を保つために推薦に至る経緯、理由を記録し報告すること。
7. 任期途中での交代について
8. コロナ禍に伴う特別処置  
→ 3期目を迎えた方は、引き継ぎをスムーズに行うため主担当と副担当を置くこと。  
→ 2020年7月～2021年9月は1期と数えず、2021年10月～2023年9月を3期目とする。  
→ 2020年7月～2021年9月に新たに任命された方は、2021年10月～2023年9月までの期を副担当とする(副担当は1期と数えない)。

### (2) U15 選手権 JBA 推薦枠の導入について

U15選手権において、2021年度より育成の考え方を重視しているチームを評価し、育成過程を重視するJBAからのメッセージ発信を目的としてJBA推薦枠(最大5枠)を設置することを再確認し、都道府県協会・BLGユースに対して連絡を行う。

<経緯>

- ・2019年12月25日JBA理事会において導入決議。
- ・2020年度第1回U15選手権で導入しようと試みたが、コロナ禍により周知が遅れ、導入を延期。
- ・2020年11月29日U15全国部会長会議にて説明。
- ・2021年度第2回U15選手権より導入。

<導入の目的>

- ・日本の現状環境で目指すべき育成チームの在り方を示す(世界水準の育成基準を目指す)。
- ・育成年代を指導する指導者が勝敗のみにこだわる考え方を、バスケットボール先進国のように育成過程を重視する考え方に変えていくためのJBAからのメッセージとする(指導者の目指してほしい方向性を示す)。
- ・育成重視でチーム作りをしている育成年代のチームを評価していく(育成世代では勝敗結果が唯一の評価基準ではないことを伝えていく手段とする)。

<選出方法>

- ・必須基準、評価基準、最終基準の3段階を設ける。
- ・必須基準(12項目)をクリアしたチームを審査対象とし、評価基準で点数化。
- ・評価基準は①コーチライセンス、②トレーナー・ストレングスコーチ、③練習プログラム及び施設環境整備、④年代別カリキュラムの作成・リーグ戦参加、の4項目とする。
- ・最終基準は、競技力(競技成績)、試合動画によりマンツーマン推進の状況や選手の使い方、プレーの質をチェックする。

以上